

## 令和5年度 宗谷管内女性教職員活躍推進会議

日時：令和6年2月28日（水）15:00～16:00

方式：Zoomを活用したオンライン会議

参加者：宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会1名・宗谷校長会3名・宗谷公立学校教頭会2名・北海道稚内高等学校長・北海道枝幸高等学校長・北海道稚内養護学校長・主幹教諭1名

目的：「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく特定事業主行動計画」に基づいたこれまでの取組状況の報告及び今後の当管内における女性活躍推進のための取組について検討する。



### 1 挨拶

宗谷教育局長 山崎 義一

- 令和5年4月1日現在の学校における女性管理職の割合は、目標の15%に対して、全道は11.0%、と目標数値を大きく下回っている状況。
- 当教育局では第2期計画に基づき、女性教職員が活躍できる環境整備や子育て支援の取組を一層推進していく。
- 出席者の皆様からの忌憚のない御意見をいただき、今後の取組につなげたい。

### 2 説明 特定事業主行動計画（第2期）概要、女性管理職目標数の達成状況、育児休業取得促進について

宗谷教育局企画総務課長 喜井 勇人

- 全道と宗谷管内の小中学校を合計した女性管理職割合については、令和5年4月1日現在で校長が全道で9.5%、宗谷管内で5.8%、教頭が全道で14.3%、宗谷管内で14%であり、女性教頭数の増加傾向を維持することにより、女性校長の割合の増加も図られ、令和7年度までの数値目標である15%の達成に繋がると想定している。
- 女性管理職割合15%の目標達成に向けて女性教職員活躍事例集の活用や管内のミドルリーダー養成研修の実施により、管理職の魅力発信やキャリアアップの意欲醸成を図った。
- 育児休業取得状況について全道的に令和3年度より徐々に上昇している。北海道教育委員会では、職員が積極的に育児休業を取得しやすい環境整備を進めるため、各種子育て支援制度の理解度を深める資料等を作成し、ホームページに公表するなどの取組を行っている。

### 3 協議 宗谷管内における有効な取組、子育て中の職員等に対する人事上の配慮等について

宗谷教育局次長 森田 靖史

- 管内の女性教職員と全道の割合がそこまで変わらないが、それはなり手が少ないということであり、学校数の多さと管外希望の多さが根底にあると考える。女性管理職を増やしていくためには、理解度を深めていくことが重要である。
- 若者や女性の働き方を含めると、誰かが欠けた際、フォローできる様な体制づくりが学校としては必要。
- 意欲と能力ある女性教職員が管理職員になることができる環境の整備は、実際に意欲や能力があっても、様々な選択肢を諦めざるを得ない状況があると感じる。
- 今いる先生がライフステージを乗り越えながら、選択肢の中の一つとして管理職を選べるような土壌ができていくのが望ましい。
- 数年前よりは女性の管理職も増え、今後も増えると思う。また、職員等に配慮している人事がはっきり見えているので、先生方にわかってもらいながら、そういう先生方の声を大きくして、PRしてもらおうと同時に、現場では理解が進むよう粘り強く話していく。
- 男性女性ではなく、誰しも、魅力ある職場でやりたくなるようなポジションがあれば、どんどん挑戦できる時代が来ているというふう実感する。
- 男性教員なども子育てに参加できるような配慮が必要と感じる。